

国際協力事業団(JICA)  
フィリピン国貿易工業省  
投資委員会(BOI/DTI)

# フィリピン国

## 産業環境マネジメント調査 (EMPOWER)

### 報告書 (要約)



2003年9月

株式会社エックス都市研究所

国際協力事業団(JICA)  
フィリピン国貿易工業省  
投資委員会 (BOI/DTI)

フィリピン国  
産業環境マネジメント調査  
(EMPOWER)

報 告 書  
(要 約)

2003 年 9 月

株式会社エックス都市研究所

## 序 文

日本国政府は、フィリピン共和国政府の要請に基づき、同国の産業環境マネジメント調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施いたしました。

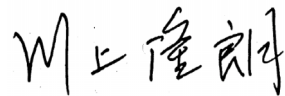
当事業団は、2002年2月から2003年9月までの間、7回にわたり株式会社エックス都市研究所の大野眞里氏を団長とし、同社から構成される調査団を現地に派遣しました。

調査団は、フィリピン共和国政府関係者と協議を行うとともに、現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書の完成の運びとなりました。

この報告書が、フィリピンにおける環境管理の推進に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査のご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

2003年9月



---

国際協力事業団  
総裁 川上 隆朗

# 伝 達 状

2003年9月

国際協力事業団  
総裁 川上 隆朗 様

国際協力事業団の鉱工業開発調査である「フィリピン国産業環境マネジメント調査」(実施期間 2002年2月から2003年9月)は、下記の2点を主な目的として、フィリピン国共和国側のカウンターパートと協議の上、実施してまいりました。

- 1) フィリピン国の企業および投資家による産業環境マネジメントの促進を図るための具体的な活動を BOI (貿易工業省投資委員会) が中心となって展開するための「アクション・プラン」を策定し、BOI の政策を強化する
- 2) パイロット・プロジェクトの実施を通して、「アクション・プラン」の実施を支える BOI をはじめとする公共/民間の産業環境マネジメント機関の能力を強化する

今般、所定の調査を完了し、その結果を和文・英文の各本編と要約および英文アネックスとして貴事業団に提出いたしますことをご報告申し上げます。

本調査の実施にあたりましては、貴事業団鉱工業開発調査部工業開発調査課、貴事業団フィリピン事務所および在フィリピン共和国大使館に多大なるご助力を頂きましたことに感謝申し上げます。

本調査が、フィリピン共和国における産業環境マネジメントの促進に役立つとともに、今後の同国の経済発展および日本とフィリピン共和国との親交に資することを願い、ここに調査の完了をご報告申し上げます。

フィリピン国産業環境マネジメント調査

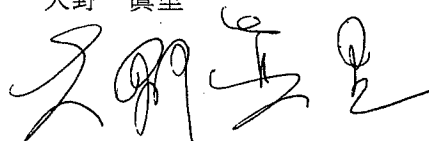
調査団団長

株式会社エックス都市研究所

常務取締役

第二研究本部長

大野 眞里



廃棄物最小化パイロット・プロジェクト



化学工場訪問 (Kemwerke)



鋳物工場訪問(AMIC)



ワークショップ (マニラ)

廃棄物最小化パイロット・プロジェクト



ワークショップ (セブ)

エコラベル・プログラム・パイロット・プロジェクト



2003年3月10日 グリーン・チョイス・フィリピン発足式  
(アロヨ大統領を囲んで)



ラモス前大統領夫人 (C&GF 理事長) による  
Green Philippine Choice ロゴの発表

セミナー・会議風景



トップ・マネジメント・セミナー (Manila Peninsula Hotel)



アクション・プラン・ラウンド・テーブル

環境産業マネジメント展



環境展 (Manila Peninsula Hotel)

環境産業マネジメント展



環境展 (SM Megamall)



環境展 (SM Megamall)



IEM Knowledge Network 発足式



# 目 次

## 序 章

### パート1

#### 1 フィリピンの製造業と環境

1.1	産業の現状	1-1
1.1.1	フィリピン経済における製造業の重要性	1-1
1.2	産業活動と環境	1-2
1.2.1	大気	1-2
1.2.2	水質	1-2
1.2.3	廃棄物	1-3

#### 2 産業環境マネジメントの現状と課題

2.1	企業における産業環境マネジメントの現状と課題	2-1
2.1.1	個別企業における IEM 活動のインタビュー調査	2-1
2.1.2	企業における IEM 促進の課題	2-2
2.2	産業団体等における IEM の現状と課題	2-5
2.2.1	NGO、業界等による IEM に係る活動の現況	2-5
2.2.2	NGO、業界等による IEM に係る今後の課題	2-7
2.3	政府機関による IEM 関連施策の現状と課題	2-8
2.3.1	関係機関による IEM 促進施策	2-9
2.3.2	法規制の現状と課題	2-15
2.3.3	経済的インセンティブ	2-17
2.4	結論：IEM 関連の行動、政策上の課題の整理	2-19
2.4.1	企業・NGO／業界団体の IEM 促進のための今後の課題	2-19
2.4.2	国の政策上の課題	2-20

#### 3 産業環境マネジメントの発展戦略

3.1	企業の産業環境マネジメントの発展の条件	3-1
3.1.1	企業の IEM の発展の前提と課題	3-1
3.1.2	企業の IEM 発展に係るフレーム	3-1
3.1.3	企業の IEM 発展に向けた視点	3-2
3.2	産業環境マネジメント促進政策の基本方針	3-3
3.2.1	前提・立場	3-3
3.2.2	制約条件	3-3
3.2.3	企業に IEM の推進を働きかけて行く上での基本的考え方	3-3
3.2.4	施策選択と展開の基本方向	3-4
3.2.5	発展のシナリオ	3-5
3.3	優先領域の設定	3-6
3.3.1	優先する環境領域・場所	3-6
3.3.2	優先する産業セクター	3-7
3.3.3	優先する施策領域	3-7
3.4	IEM 促進施策の展開方向	3-8

3.4.1	企業の自主的な取り組みの促進施策	3-8
3.4.2	法制度や政策面でのサポート	3-9
3.4.3	経済的インセンティブ	3-10
<b>4</b>	<b>産業環境マネジメント・アクション・プラン(IEMAP)</b>	
4.1	IEMAPの基本的枠組み	4-1
4.1.1	背景と目的	4-1
4.1.2	IEMAPの対象範囲	4-2
4.2	自主的IEMの推進に係る行動計画	4-2
4.2.1	目的	4-2
4.2.2	IEMに係る統合的情報システム整備・運用プログラム	4-2
4.2.3	IEM実践企業の普及・拡大プログラム	4-5
4.2.4	IEM普及のためのリーダー育成プログラム	4-10
4.2.5	IEMベスト・プラクティス・マニュアル作成プログラム	4-13
4.3	法規制・政策によるIEM支援行動計画	4-16
4.3.1	目的	4-16
4.3.2	「フィリピン環境パートナーシップ・プログラム(PEPP)」推進プログラム	4-16
4.3.3	BOI「グリーン調達政策」普及プログラム	4-19
4.3.4	「フィリピン国リサイクル基本政策」の策定プログラム	4-20
4.3.5	既存法規制の包括的レビュー・プログラム	4-23
4.4	経済的手法によるIEM支援に係る行動計画	4-25
4.4.1	目的	4-25
4.4.2	アクション・プランにおける主要課題	4-25
4.4.3	行動プログラム	4-25
4.4.4	関係主体の役割	4-27
4.4.5	プログラム実施スケジュール	4-27
4.4.6	プログラム実施のための資金調達と期待される効果	4-27
<b>5</b>	<b>パイロット・プロジェクトの立案</b>	
5.1	パイロット・プロジェクトの目的	5-1
5.2	パイロット・プロジェクト案の作成の前提	5-1
5.2.1	現状把握のための調査結果	5-1
5.2.2	IEM推進上の課題	5-2
5.3	今後の展開とパイロット・プロジェクト	5-2
5.3.1	パイロット・プロジェクト選定の方針	5-2
5.3.2	パイロット・プロジェクト案提案の背景	5-3
<b>6</b>	<b>廃棄物最小化パイロット・プロジェクト</b>	
6.1	パイロット・プロジェクトの目的とその背景	6-1
6.2	パイロット・プロジェクト実施体制	6-1
6.3	パイロット・プロジェクトにおける活動	6-1
6.4	パイロット・プロジェクトの成果	6-2
6.5	パイロット・プロジェクトの実施スケジュール	6-2
6.6	パイロット・プロジェクト活動の詳細	6-3
6.6.1	運営委員会の設置	6-3
6.6.2	廃棄物最小化アセスメント調査	6-4
6.6.3	モデル企業による廃棄物最小化の推進	6-5

6.6.4	生産性向上アセスメント.....	6-9
6.6.5	廃棄物最小化ガイドブックの作成.....	6-14
6.6.6	業界の廃棄物最小化アクション・プラン.....	6-15
6.6.7	廃棄物最小化ワークショップの開催.....	6-15
6.6.8	中小企業オーナー並びにトップ経営者による廃棄物最小化支援.....	6-16
6.6.9	表彰制度の検討.....	6-16
6.7	廃棄物最小化パイロット・プロジェクトのまとめ.....	6-17
6.7.1	パイロット・プロジェクトの実施をとおした関係主体の能力強化.....	6-17
6.7.2	パイロット・プロジェクトの評価.....	6-17
6.7.3	提言.....	6-20
6.7.4	教訓.....	6-21

## 7 IEM 情報システム・パイロット・プロジェクト

7.1	パイロット・プロジェクトの背景と目的.....	7-1
7.2	パイロット・プロジェクトの実施体制.....	7-1
7.3	パイロット・プロジェクトにおける活動.....	7-1
7.4	パイロット・プロジェクトの成果.....	7-1
7.4.1	統合的 IEM 情報システムの枠組み.....	7-1
7.4.2	統合的 IEM 情報ウェブサイト (IEM Knowledge Network).....	7-2
7.5	パイロット・プロジェクトの実施スケジュール.....	7-2
7.6	パイロット・プロジェクト活動の詳細.....	7-3
7.6.1	運営委員会の設置運営.....	7-3
7.6.2	統合的 IEM 情報システムの枠組みの構築.....	7-4
7.6.3	IEM 情報ウェブサイトの構築 (IEM Knowledge Network).....	7-6
7.7	IEM 情報システム・パイロット・プロジェクトのまとめ.....	7-11
7.7.1	パイロット・プロジェクトの実施を通じた関係主体の能力強化.....	7-11
7.7.2	パイロット・プロジェクトの評価.....	7-12
7.7.3	提言.....	7-15
7.7.4	教訓.....	7-15

## 8 エコラベル及びグリーン購入パイロット・プロジェクト

8.1	エコラベル及びグリーン購入パイロット・プロジェクトの背景と目的.....	8-1
8.1.1	プロジェクトの背景.....	8-1
8.1.2	本パイロット・プロジェクトの目的.....	8-1
8.1.3	本プロジェクトの構成.....	8-2
8.2	エコラベル・プログラム.....	8-2
8.2.1	エコラベル・パイロット・プロジェクトの実施体制.....	8-2
8.2.2	エコラベル・パイロット・プロジェクトの目標とアウトプット.....	8-3
8.2.3	エコラベル・パイロット・プロジェクトにおける活動概要.....	8-3
8.2.4	実施スケジュール.....	8-3
8.2.5	運営委員会の設置と運営.....	8-4
8.2.6	エコラベル及びグリーン購入に関するワークショップ.....	8-5
8.2.7	エコラベル・プログラムのマスター(戦略)プラン.....	8-5
8.2.8	エコラベル・プログラムのガイドライン.....	8-6
8.2.9	新しい製品基準の設定.....	8-10
8.2.10	意識啓発活動.....	8-12
8.3	グリーン購入パイロット・プロジェクト.....	8-16
8.3.1	グリーン購入パイロット・プロジェクトの実施体制.....	8-16

8.3.2	パイロット・プロジェクト実施内容	8-16
8.3.3	BOI のグリーン購入基本方針	8-18
8.3.4	BOI グリーン購入基本方針のアクション・プラン	8-19
8.3.5	BOI グリーン購入基本方針の実施と促進	8-20
8.4	BOI の ISO14001 認証取得	8-21
8.4.1	BOI における環境マネジメントシステム	8-21
8.4.2	BOI 作業部会 (Technical Working Group: TWG)	8-23
8.4.3	BOI の ISO14001 取得準備状況と今後の課題	8-23
8.5	エコラベル・グリーン購入パイロット・プロジェクトのまとめ	8-24
8.5.1	パイロット・プロジェクトの実施を通じた関係主体の能力強化	8-24
8.5.2	パイロット・プロジェクトの評価	8-25
8.5.3	提言	8-28
8.5.4	教訓	8-28
<b>9</b>	<b>EMPOWER セミナー</b>	
9.1	EMPOWER セミナーの開催状況	9-1
9.2	EMPOWER セミナーの成果	9-1
9.2.1	第 1 回セミナー	9-1
9.2.2	第 2 回セミナー	9-2
9.2.3	第 3 回セミナー	9-2
9.2.4	第 4 回セミナー	9-2
<b>10</b>	<b>産業環境マネジメント展</b>	
10.1	環境展開催の目的	10-1
10.2	環境展開催の取組み	10-1
10.2.1	実施体制	10-1
10.2.2	プログラム	10-2
10.2.3	環境展の出展者	10-3
10.3	プロモーション活動	10-4
10.3.1	実施スケジュール	10-4
10.3.2	プレス・リリース	10-5
10.4	環境展の成果	10-5
<b>11</b>	<b>EMPOWER ホームページ</b>	
11.1	EMPOWER ホームページの目的	11-1
11.2	プロジェクト実施中の EMPOWER ホームページ	11-1
11.2.1	EMPOWER ホームページの構成	11-1
11.3	プロジェクト終了後の EMPOWER ホームページ	11-3
11.3.1	BOI 産業環境ホームページの構成案	11-3
<b>12</b>	<b>総括と提言</b>	
12.1	総括	12-1
12.2	提言	12-1
12.2.1	IEM アクション・プランの実施	12-1
12.2.2	パイロット・プロジェクトの成果の普及発展	12-2
12.2.3	BOI による情報の発信	12-3

## 図 表 目 次

表1.1.1	フィリピン経済における製造業の貢献度	1-1
表1.1.2	主要社会経済指標における製造業の特定サブセクターの重要性	1-1
表1.2.1	製造業サブセクターごとの環境負荷(大気)の大きさの順位	1-2
表1.2.2	製造業サブセクターごとの環境負荷(水質)の大きさの順位	1-3
表2.1.1	業種別のEMS実施率	2-1
表2.1.2	環境マネジメント重点3項目の実施企業とEMS	2-1
表 2.2.1	業界団体によるBA21に基づく活動	2-6
表 2.4.1	IEM関連の行動、政策上の課題の整理	2-20
表 4.2.1	「IEMに係る統合的情報システム整備・運用プログラム」	4-3
表 4.2.2	産業環境マネジメントに係る統合的情報システム整備・運用プログラム	4-4
表 4.2.3	デモンストレーション事業の実施内容	4-6
表 4.2.4	個別企業(工場)「デモンストレーション事業」プロセス	4-7
表 4.2.5	「IEM実践企業の普及・拡大プログラム」関係主体の役割	4-8
表 4.2.6	IEM実践企業の普及・拡大プログラム	4-9
表 4.2.7	IEM実践企業の普及・拡大プログラム費用概算	4-10
表 4.2.8	IEM普及のためのリーダー選定の段階	4-11
表 4.2.9	「IEM普及のためのリーダー育成プログラム」関係主体の役割	4-11
表 4.2.10	産業環境マネジメント・オピニオン・リーダーの育成	4-12
表 4.2.11	「IEM普及のためのリーダー育成プログラム」費用概算	4-12
表 4.2.12	「IEMベスト・プラクティス・マニュアル」作成プロセス	4-14
表 4.2.13	「IEMベスト・プラクティス・マニュアル作成プログラム」	4-14
表 4.2.14	「産業環境マネジメント・ベスト・プラクティス・ガイドブック」	4-15
表 4.2.15	「IEMベスト・プラクティス・マニュアル作成プログラム」実施費用概算	4-15
表 4.3.1	PEPP推進のための政府機関内支援体制確立プロセス	4-17
表 4.3.2	「PEPP推進プログラム」実施関係主体と役割	4-17
表 4.3.3	「PEPP推進プログラム」実施スケジュール	4-18
表 4.3.4	「PEPP推進プログラム」費用概算	4-18
表 4.3.5	BOI「グリーン調達政策」普及プログラム	4-19
表 4.3.6	BOI「グリーン調達政策」普及プログラム実施費用	4-20
表 4.3.7	「国家リサイクル資源インベントリー」作成プロセス	4-21
表 4.3.8	「フィリピン国リサイクル基本政策」策定プログラム実施日程	4-22
表 4.3.9	「フィリピン国リサイクル基本政策」策定プログラム実施費用	4-22
表 4.3.10	「既存法規制の包括的レビュー・プログラム」関係主体役割表	4-23
表 4.3.11	「既存法規制の包括的レビュー・プログラム」実施スケジュール	4-24
表 4.3.12	「既存法規制の包括的レビュー・プログラム」実施費用	4-24
表 4.4.1	「経済的手法によるIEM支援に係る行動計画」プログラム関係主体の役割表	4-27
表 4.4.2	「経済的手法によるIEM支援に係る行動計画」プログラム実施スケジュール	4-27
表 4.4.3	「経済的手法によるIEM支援に係る行動計画」プログラム実施費用	4-27
表 6.5.1	廃棄物最小化パイロット・プロジェクト実施スケジュール	6-2
表6.6.1	廃棄物最小化パイロット・プロジェクトの構成メンバー	6-3
表6.6.2	廃棄物最小化パイロット・プロジェクト協力企業リスト	6-4
表 6.6.3	モデル企業とその業種	6-6
表 6.6.4	モデル企業の会社概要	6-6
表6.6.5	Kemwerkelにおける廃棄物最小化実施計画	6-7
表6.6.6	Kemwerke社で実施した廃棄物最小化の成果	6-8
表6.6.7	Noah's Paper Mills社で実施した廃棄物最小化の成果	6-8

表6.6.8 TSB Enterprises社で実施した廃棄物最小化の成果	6-9
表6.6.9 Acetech Metal Industries社で実施した廃棄物最小化の成果	6-9
表 6.6.10 廃棄物最小化ワークショップの開催日時、参加者数	6-15
表6.7.1 パイロット・プロジェクト実施をとおした関係主体の能力強化	6-17
表6.7.2 廃棄物最小化パイロット・プロジェクトの実績	6-18
表 6.7.3 廃棄物最小パイロットプロジェクトの評価	6-19
表 7.5.1 IEM 情報システム・パイロット・プロジェクト 実施スケジュール	7-3
表 7.6.1 IEM 情報システム・パイロット・プロジェクト 運営員会メンバー	7-3
表 7.6.2 IEM 情報システム・パイロット・プロジェクト ワーキング・グループ・メンバー	7-4
表 7.6.3 統合的 IEM 情報システムの目的	7-5
表 7.7.1 IEM情報システム・パイロット・プロジェクトによる能力強化	7-12
表 7.7.2 IEM情報システム・パイロット・プロジェクトの実績	7-12
表 7.7.3 プロジェクト評価の概要	7-13
表 8.2.1 関係機関の役割	8-2
表 8.2.2 実施スケジュール	8-3
表 8.2.3 運営委員会の活動	8-4
表 8.2.4 料金体系	8-9
表 8.2.5 家庭用電池の作業部会(TWG-0003)の活動概要	8-11
表 8.2.6 プラスチック容器の作業部会(TWG-0004)の活動概要	8-11
表 8.2.7 発足式プログラム	8-12
表 8.2.8 グリーン・チョイス・フィリピン発足式に関するプレス・リリース	8-13
表 8.3.1 実施体制	8-16
表 8.3.2 実施スケジュール	8-17
表 8.3.3 作業部会の活動	8-17
表 8.4.1 実施スケジュール	8-21
表 8.4.2 作業部会活動概要	8-23
表 8.4.3 実施項目の進捗状況	8-23
表 8.5.1 エコラベル・パイロット・プロジェクトによる能力強化	8-24
表 8.5.2 グリーン購入パイロット・プロジェクトによる能力強化	8-25
表 8.5.3 エコラベル及びグリーン購入パイロット・プロジェクトの実績	8-25
表 8.5.4 エコラベル・プログラム・パイロット・プロジェクトの評価	8-26
表 8.5.5 BOIのグリーン購入・ISO14001取得支援パイロット・プロジェクトの評価	8-27
表 9.1.1 EMPOWER セミナーの概要	9-1
表 10.2.1 環境展実施体制	10-1
表 10.2.2 環境展第一日目のプログラム(ペニンシュラホテル)	10-2
表 10.2.3 環境展第二日目のプログラム(SMメガモール)	10-3
表 10.2.4 展示者リスト	10-3
表 10.3.1 プロモーション・スケジュール	10-4
図 3.1.1 企業のIEMと外部との関係モデル	3-2
図 3.2.1 企業群のIEM取組みレベルの現状イメージ	3-5
図 3.2.2 企業群のIEMの発展への移行のイメージ	3-6
図 3.3.1 企業におけるIEMのステップアップ・イメージ	3-8
図 6.6.1 Kemwerkelにおける既存レイアウト	6-10
図 6.6.2 Kemwerkelにおけるレイアウトの提案	6-10
図 6.6.3 TSB社の現在のレイアウト	6-12
図 6.6.4 TSB社のレイアウトの提案	6-12
図 6.6.5 Acetech Metal Casting社の現在のレイアウト	6-13

図 6.6.6 Acetech Metal Casting社のレイアウト提案 .....	6-13
図 7.6.1 IEM 情報ウェブサイトの構成.....	7-7
図 7.6.2 IEM 情報ウェブサイト ホームページ .....	7-9
図 8.2.1 製品基準設定の流れ .....	8-8
図 8.2.2 申請・承認手続きの流れ.....	8-9
図 8.4.1 EMS実施体制.....	8-22
図 11.2.1 EMPOWER ホームページの構成 .....	11-1
図 11.2.2 EMPOWER メインページ .....	11-2
図 11.3.1 産業環境ホームページの構成.....	11-3

Exchange Rate: PHP ≙ 2.2 yen  
US\$ ≙ 118.58 yen

### Abbreviations

<b>A</b>	ACDI-VOCA	Agricultural Cooperative Development International-Volunteer Overseas Cooperative Agency	国際農業民間組織
	ADB	Asian Development Bank	アジア開発銀行
	APO	Asian Productivity Organization	アジア生産性機構
	APRCP	Asia Pacific Roundtable for Cleaner Production	クリーナープロダクション・アジア・太平洋円卓会議
	ARMM	Autonomous Region of Muslim Mindanao	モスリム・ミンダナオ自治地域
<b>B</b>	BAC	Bids and Awards Committee	入札審査委員会
	BEMP	Best Environmental Management Practices	環境マネジメントのベストプラクティス
	BEMS	Building Energy Management Systems	建築物エネルギー管理システム
	BFAD	Bureau of Food and Drugs	食料医薬品局
	BOI	Board of Investments	投資委員会
	BPS/DTI	Bureau of Product Standards of the Department of Trade and Industry	貿易工業省製品基準局
	BSMBD/DTI	Bureau of Small and Medium Business Development/DTI	中小企業庁
<b>C</b>	C&GF	Clean and Green Foundation Inc	クリーン&グリーン基金
	CAA	Clean Air Act	大気浄化法
	CAMPI	Chamber of Automotive Manufacturers of the Philippines	フィリピン自動車工業会
	CAR	Cordillera Autonomous Region	コルディリェラ地方
	CBR	Confidential Business Report	企業秘密レポート
	CDC	Clark Development Corporation	クラーク開発会社
	CEOs	Chief Executive Officer	最高経営責任者
	CP	Cleaner Production	クリーナープロダクション
<b>D</b>	DA	Department of Agriculture	農業省
	DAO	Department Administrative Order	省令
	DAP	Development Academy of the Philippines	フィリピン開発アカデミー
	DBM	Department of Budget and Management	予算運用管理省
	DBP	Development Bank of the Philippines	フィリピン開発銀行
	DENR	Department of Environment and Natural Resources	環境天然資源省
	DFE	Design for Environment	環境適合設計
	DILG	Department of Interior and Local Government	内務地方政府省
	DOE	Department of Energy	エネルギー省
	DOF	Department of Finance	財務省
	DOH	Department of Health	保健省
	DOST	Department of Science and Technology	科学・技術省
	DTI	Department of Trade and Industry	貿易工業省
<b>E</b>	EAPS	Environmental Aspects in Product Standards	製品基準の環境側面
	ECC	Environmental Compliance Certificate	環境適合証
	ECOP		フィリピン雇用連名
	EESSIS	Evaluation of Environmental Standards for Selected Industrial Sub-Sectors	特定産業サブ・セクターの環境基準評価
	EIA	Environmental Impact Assessment	環境影響評価
	EIS	Environmental Impact Statement	環境影響報告書
	EISCP	Environmental Infrastructure Support Credit Program	環境インフラサポート貸し付けプログラム
	ELP	Eco-labeling Program for the Philippines	フィリピン・エコラベル・プログラム
	EMA	Environmental Management Accounting	環境マネジメント監査
		Environmental Management Bureau/	
	EMB/DENR	Department of Environment and Natural Resources	環境管理局/環境天然資源省
	EMS	Environmental Management Systems	環境マネジメント・システム



<b>E</b>	EMSAP	Environmental Management System Accreditation Program	環境管理システム認証プログラム
	ENMAP	Energy Management Association of the Philippines	フィリピン・エネルギー管理協会
	ENRAP	Environmental and Natural Resources Accounting Project	環境・自然資源勘定プロジェクト
	EPA	Environmental Protection Agency	アメリカ環境保護局
	EPE	Environmental Performance Evaluations	環境パフォーマンス評価
	EPIC	Environmental Management Program	産業競争力のための環境マネジメントプログラム
		for Industrial Competitiveness	
	EPMD/DOE	Environmental Protection and Monitoring Division /Department of Energy	環境保護・監視課/エネルギー省
	ERA	Environmental Risk Analysis	環境リスク分析
	ESCO	Energy Service Company	エネルギーサービス会社
	ESP	Environmental Service Provider	環境サービスプロバイダー
	ESWMA	Ecological Solid Waste Managemnet Act	エコロジカル廃棄物管理法
<b>F</b>	F.O.B.	Free On Board	エフオービー（本船渡し）
	FDIs	Foreign Direct Investments	海外直接投資
	FPA	Fertilizer and Pesticide Authority	肥料農薬局
<b>G</b>	GDP	Gross Domestic Product	国内総生産
	GEC	Global Environmant Center Foundation	(財)地球環境センター
	GIS	Geographic Information System	地理情報システム
	GNP	Gross National Product	国民総生産
	GOP	the Government of the Philippines	フィリピン国政府
<b>H</b>	HEEM	Highly Energy Efficient Motors	エネルギー効率モーター
	HW	Hazardous Wastes	有害廃棄物
	HWM	Hazardous Waste Management	有害廃棄物管理
<b>I</b>	IEC	Information, Education, Communication	情報、教育、コミュニケーション
	IEM	Industrial Environment Management	産業環境マネジメント
	IEMP	Industrial Environmental Management Project	産業環境管理プロジェクト
	IEPC	Industrial Efficiency and Pollution Control Program	産業効率及び公害防止プログラム
	IISE	Industrial Initiatives for a Sustainable Environment	持続可能な環境へ向けた産業界のイニシアティブ
	ILO		国際労働機構
	IPCT	Integrated Program on Cleaner Production Technologies	クリーナープロダクション技術総合プログラム
	IPP	Investment Priority Plan	投資優先計画
	IRR	Implementing Rule and Regulations	施行規則
	ISO	International Organization for Standardization	国際標準化機構
	ITDI/DOST	Industrial Technology Development Institute/	
		Department of Science and Technology	産業技術開発研究所/科学技術省
<b>J</b>	JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力事業団
<b>L</b>	LBP	Land Bank of the Philippines	フィリピン土地銀行
	LCA	Life Cycle Assessment	ライフ・サイクル・アセスメント
	LGU	Local Government Unit	地方自治体
	LLDA	Laguna Lake Development Authority	ラグナ湖開発庁
	LLES	Laguna Lake Environmental Study	ラグナ湖環境調査
<b>M</b>	MAP	Management Association of the Philippines	フィリピン経営者協会
	MBIs	Market-Based Instruments	市場ベースの手法
			特定企業に関する総合的な月次調査
	MISSI	Monthly Integrated Survey of Selected Industries	多国籍企業
	MOA	Memorandum of Agreement	合意書
<b>N</b>	NCR	National Capital Region	首都圏地域
	NEDA	National Economic Development Authority	国家経済開発庁
	NRIPS	National/Regional Industry Prioritization Strategy	国家/地域産業優先戦略
	NSCB	National Statistical Coordination Board	国家統計調整委員会
<b>O</b>	OECF	Overseas Economic Cooperation Fund of Japan	旧JBIC（国際協力銀行）
	OIP-BOI	Office for Industrial Policy	産業政策局/投資委員会
<b>P</b>	P2	Pollution Prevention	公害防止
	PAB	Pollution Adjudication Board	公害判決委員会
	PAAEP	Philippine Association of Environmental Assessment	フィリピン環境評価専門家協会
	PATLEFAM	Philippine Association of Tertiary Level Educational Institutions	環境計画及び管理に関する高等教育機関連合会

<b>P</b>	PBE	Philippine Business for the Environment	フィリピン・ビジネス・フォー・エンバイロメント
	PCA	Pollution Control Assessment	汚染管理評価
	PCAPI	Pollution Control Association of Philippine Industry	フィリピン産業汚染管理協会
	PCO	Pollution Control Officer	汚染管理者（公害防止管理者）
	PCSD	Palawan Council for Sustainable Development	フィリピン持続型開発会議
	PD	Presidential Decree	大統領令
	PEIA	Philippine Environmental Industries Association	フィリピン環境産業協会
	PEMAS	Philippine Environmental Management System	フィリピン環境マネジメントシステム
	PEPP	Philippine Environmental Partnership Program	フィリピン環境パートナーシッププログラム
	PEZA	Philippine Economic Zone Authority	フィリピン経済区庁
	PHILFOODEX	Philippine Food Processors and Exporters Organization, Inc.	フィリピン食品加工および輸出業者団体
	PICPA	The Philippine Institute of Certified Public Accountants	公認会計士協会
	PIP	Packaging Institute of the Philippines	フィリピン容器研究所
	PMAI	Philippine Metalcasting Association Inc.	フィリピン鋳物業協会
	PMA	Pollution Management Appraisal	汚染管理評価
	PMS	Performance Monitoring System	パフォーマンス・モニタリング・システム
	PNS	Philippine National Standard	フィリピン国家基準
	POA	Philippine Oil chemistry Association	フィリピン油脂化学協会
	PPCI	Philippine Chamber of Commerce and Industry	フィリピン商工会議所
	PREMIS	Pollution Reduction and Environmental Management Information System	公害防止・環境マネジメント情報システム
	PRIME	Private Sector Participation in Managing the Environment	環境管理に関する民間セクター・パートナーシップ
	PSIC code	Philippines Standard for Industrial Category code	フィリピン産業標準規格
	PSMA	Philippine Sugar Millers Association	フィリピン砂糖業協会
	PSSD	Philippine Strategy for Sustainable Development	フィリピン持続可能な開発戦略
PULPAPEL	Pulp and Paper Manufacturers Association	紙パルプ工業会	
PVR	Public Version Report	一般公開用報告書	
PWPA	Philippine Wood Producers Association	フィリピン木材生産者協会	
<b>S</b>	SBMA	Subic Bay Metropolitan Authority	スービック湾首都圏公社
	SEIPI	Semi-conductor and Electronics Industries of the Philippines	半導体&電子機器産業会
	SKEM	Survey of Key Manufacturing Establishments	主要製造会社調査
	SMEs	Small and Medium Enterprises	中小企業
	SPIK	Samahan sa Pilipinas ng mga Industriyang Kimika	フィリピン化学工業協会
	SS	Suspended Substances	浮遊物質
	SW	Solid Wastes	固形廃棄物
<b>T</b>	THW	Toxic and Hazardous Waste	有害廃棄物
	TLRC	Technology Livelihood Resource Center	生活技術情報センター
	TOC	Total of Organically bound Carbon	全有機炭素成分
	TSD	Treatment, Storage and Disposal	処理、保管、処分
	TSP	Total Suspended Particles	総浮遊粒子
<b>U</b>	UNDP	United Nations Development Programme	国連開発計画
	UNIDO	United Nations Industrial Development Organization	国連工業開発機構
	URBAIR	Urban Air Quality Program	都市大気保全プログラム
	USAID	United States Agency for International Development	アメリカ国際開発庁
<b>V</b>	VA	Value Analysis	価値分析
	VOCs	Volatile Organic Compounds	揮発性有機化合物
	VSMD	Variable Speed Motor Drives	変速モータードライブ
<b>W</b>	WB/PEM	World Bank: Philippines Environment Monitor	世界銀行/フィリピン環境モニター
	WHO	World Health Organization	世界保健機関
	WHRS	Waste Heat Recovery Systems	余熱利用システム

## 序 章

### 1 EMPOWERプロジェクトの背景

フィリピン国(以下「比」国)は、現在の国家開発計画である「Medium-Term Philippine Development Plan 1999-2004」において、各セクターにおける開発計画の実行にあたり、環境保全に十分に配慮することが明記されている。これは、持続可能な経済開発を進めていく上で、個々の経済・産業活動が適切な環境配慮のもとに実施されるべきことの重要性を示しているものである。しかし、このような「比」国の方針とは裏腹に、経済・産業活動が集中する大都市及びその周辺を中心に大気汚染、水質汚濁、産業廃棄物による環境への負荷は年々高まってきている。

このような状況を受け、1999年3月に派遣された我が国の経済協力総合調査団と「比」国政府との政策対話において、今後の「比」国に対する援助重点4分野の一つの柱として「環境保全」が掲げられ、現在まで国際協力事業団を通じて、環境計画アドバイザー長期専門家の派遣、都市・産業管理に係る国別特設研修、有害産業廃棄物管理に係るマスタープラン、フィージビリティ・スタディ及び組織・制度強化を含む開発調査が、環境分野への協力として、現在まで実施されてきている。

「比」国における従来の環境保全及び環境管理は、「環境天然資源省環境管理局(Department of Environment and Natural Resources- Environmental Management Bureau: DENR-EMB)」を中心とする「規制主導型(Command and Control)」で実施されてきたが、近年では産業セクターを中心に、経済的手法を用いた市場原理に基づく手法の活用(いわゆるMarket-Based Instruments: MBIs)や民間企業による自主的な環境管理の取組みを強化させるような政策措置の推進(クリーナープロダクション、環境マネジメント・システム導入の奨励等)をベースとする公共/民間の協調(Public Private Partnership: PPP)による新たな環境ガバナンスの確立が、ADB、UNDP、USAIDといった援助機関の技術・資金協力を得て模索され始めており、地域・分野限定的ではあるものの一定の成果を上げてきている。

このような新たな動きの中で、「比」国の貿易・産業及びそれに関わる投資促進の担い手となっている「貿易産業省投資委員会(Department of Trade and Industry- Board on Investment: DTI-BOI)」が民間企業による自主的な産業環境管理の推進に果たす役割は、今後さらに重要なものになってくることが予想されている。

本件は、このような産業環境管理をめぐる動きの中で、各ドナーからの支援を受けて実施されたプロジェクトの成果を踏まえつつ、さらにこれを地域・分野の双方において拡大し、「比」国における産業環境管理の一層の浸透・普及を民間企業の間に行っていくことを目的として、「比」国政府より我が国に対して要請され、平成13年3月に行った「予備調査」及び「実施細則(I/A: Implementing Arrangement)」の署名・交換が行われたものである。

## 2 産業環境マネジメントの定義

本プロジェクトでは、産業環境マネジメントを以下のように定義している。

### 2.1 産業環境マネジメントの目的

**原料調達から製造、流通、販売、使用、廃棄に至る産業活動の各段階において生じる環境負荷を最小化する努力を通じて、持続可能な発展に資する。**

産業環境マネジメントの究極的な目標は、上述の全ての段階に適切な環境配慮を組み込むことにより、環境への負荷を最小化することにある。この定義は、産業活動を担う生産者は生産活動のみならず、生産されたもの、すなわち製品の使用・廃棄の段階での環境負荷についても責任を負うべきであるという、いわゆる「**拡大生産者責任 (Extended Producer's Responsibility)**」の原則に基づいている。

したがって、産業活動の担い手となる企業は、以下の表に示すように横軸に負荷を及ぼす環境メディア、縦軸に産業活動の各段階を置いたマトリックス上で、各段階でどの環境メディアにどのような負荷が生じているかを的確に認識・評価し、その削減を図っていくことが必要となる。

表 2.1.1 産業活動に伴う環境負荷評価のマトリックス

環境メディア 活動段階	大気	水質	廃棄物/ 化学物質	土壌	自然資源	その他 (地球環境等)
原料調達						
生産／製造						
流通／販売						
使用						
廃棄						

### 2.2 産業環境マネジメントの主体

産業環境マネジメントの主体は、あくまで産業活動を行っている民間企業であり、その自主的な取組みを促進することに行政の役割があると認識している。したがって、本プロジェクトでは、企業が取り組むべき産業環境マネジメントのための具体的なアクションを提案するとともに、それを支援・振興するために行政がとるべき具体的な施策措置を検討することに重点を置いている。

### 2.3 産業環境マネジメントの手法

産業活動の主体である民間企業の視点から見た場合、環境負荷を削減する産業環境マネジメントの手法は、産業活動の各段階別に、表 2.3.1に示したようなものから構成されると想定している。表 2.3.1の流通・販売段階における環境管理は、流通・販売を実施している輸送・卸売り・小売業の環境管理上の課題と考えられることから、製造業を中心としている本プロジェクトにおける主要な対象とはならないが、他の4

つの段階は、製造業における産業環境マネジメントの対象となるものと認識している。

表 2.3.1 産業活動の段階別の産業環境マネジメント手法

産業活動の段階	環境負荷の削減方法	具体例
1. 原料調達	(1) 環境負荷の少ない原料の調達(グリーン調達)	<ul style="list-style-type: none"> <li>-再生資源の原料利用の拡大</li> <li>-環境低負荷型原料や再生資源の原料を考慮した環境調和型製品の開発</li> </ul>
	(2) 環境負荷の少ない燃料の選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>-高カロリー廃棄物の燃料利用</li> <li>-再生可能エネルギーの利用</li> <li>-低環境負荷型(低CO<sub>2</sub>排出等)化石燃料の利用</li> </ul>
	(3) 原料採取に伴う環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>-一次原料採取(鉱物、森林資源等)に際しての自然環境等への負荷の低減</li> </ul>
	(4) 輸送に伴う環境負荷低減	→流通・販売段階を参照
2. 生産/製造	(1) 省エネルギー/省資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>-製造設備の高効率化</li> <li>-製造プロセスの改善(工程の省略・効率化)</li> <li>-廃熱・未利用エネルギー利用</li> <li>-エネルギー管理の徹底</li> </ul>
	(2) 発生物の工程内利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>-工程内リサイクル</li> <li>-排水の工程内処理・再利用(クローズド化)</li> </ul>
	(3) 有害物質の使用低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>-原料の代替化</li> <li>-関連工程の改善・省略</li> </ul>
	(4) クリーンプログラクション	
3. 流通・販売	(1) 包装・梱包の合理化	<ul style="list-style-type: none"> <li>-使用量の削減</li> <li>-包装・梱包材の再利用</li> </ul>
	(2) 物流の合理化	<ul style="list-style-type: none"> <li>-モーダルシフト</li> <li>-物流システムの改善・効率化</li> </ul>
	(3) 輸送時の環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>-低公害車利用促進</li> <li>-低公害型の運転マナー普及</li> </ul>
4. 使用・廃棄	(1) 低環境負荷型(環境調和型)製品の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>-省エネ・省資源型製品</li> <li>-低環境負荷(排ガス、排水削減)型製品</li> <li>-廃棄物減量化型製品(製品の長寿命化、リサイクル容易化、部品・部材の共通化等)</li> </ul>
	(2) 製品の引取りとリサイクル	<ul style="list-style-type: none"> <li>-製品の引取りシステム</li> <li>-部品等の再使用</li> <li>-使用済製品の原料としての使用</li> </ul>
5. 総合	(1) 環境経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>-EMS(環境マネジメント・システム)</li> <li>-LCA(ライフサイクル・アセスメント)</li> <li>-環境会計</li> <li>-環境パフォーマンス評価(環境報告書)</li> </ul>

### 3 プロジェクトの目的

EMPOWERプロジェクトの目的は主に以下の2つである。

- (1) 「比」国の企業及び投資家による産業環境マネジメントの促進を図るための具体的な活動をBOIが中心となって展開するための「アクション・プラン」を策定し、BOIの政策を強化する。
- (2) パイロット・プロジェクトの実施をとおして、「アクション・プラン」の実施を支えるBOIをはじめとする公共／民間の産業環境マネジメント関係機関の能力を強化する。

### 4 プロジェクトの枠組み

#### 4.1 プロジェクトを実施する地域及びセクター

EMPOWERプロジェクトは、ルソン(Luzon)、ビサヤ(Visaya)地域における製造業(agri-businessを含む。)の中心地を対象としている。

#### 4.2 プロジェクトの内容

EMPOWERプロジェクトは、主に次の活動から構成されている。

- フィリピンの製造業の概要及び製造業が環境に与える負荷の把握  
既存統計資料からフィリピンにおける製造業の位置付け・構成を整理するとともに、既存の調査研究結果に基づき、大気、水、廃棄物の分野における製造業の環境負荷を様々な人間活動による環境負荷と比較して特徴を把握した。
- フィリピンにおける産業環境マネジメントの現状の把握  
産業環境マネジメントに関連する既存の調査研究・プロジェクト、関係政府機関の活動、業界団体の活動について、文献調査及びヒアリングを行って現状を把握するとともに、フィリピン企業にヒアリング調査を実施して、個別企業における産業環境マネジメントの実態を把握した。
- フィリピンにおける産業環境マネジメントの課題の把握  
上記の現状把握を踏まえての、課題の明確化を行った。
- 国家産業環境マネジメント行動計画の策定  
2003年から2005年の3年間を対象とし、産業環境マネジメントを推進するため、自主的取組みの推進、政策・規制、経済的インセンティブの3分野の活動と実施主体を明らかにした。
- 産業環境マネジメント・パイロット・プロジェクトの実施  
企業による廃棄物最小化の取組み支援、産業環境マネジメント関連情報クリアリングハウスとしてのウェブサイトの構築と関連情報提供の枠組みのデザイン、エコラベル・プログラムの確立とBOIのグリーン購入方針採択について、フィリピン国の政府機関、業界団体、NGOが主体となって、パイロット・プロジェクトを実施した。

- 産業環境マネジメント推進に係る意識の啓発活動の実施  
EMPOWERプロジェクトの内容や進捗状況を伝えるホームページの立ち上げ、調査結果やパイロット・プロジェクトの成果を共有するためのセミナー及び環境展の開催をとおして、関係主体の産業環境マネジメントに関する意識の啓発を行った。

### 4.3 プロジェクト実施期間及び体制

EMPOWERプロジェクトは、次のJICA調査団員及びフィリピン側カウンターパート(BOI-DTI)メンバーによって実施され、2002年2月に開始、2003年8月に終了した。

JICA 調査団	
大野真人	総括
マルリート・カルデナス	産業環境マネジメント 政策・制度
田中忠男	廃棄物最小化
内山宏	廃棄物最小化
平井正直	廃棄物最小化
三百苺紀雄	廃棄物最小化
小川柳二	生産管理
田口整司	エコラベル・プログラム
杉本聡	財務分析・経済的手法
岡かおる	企業マネジメント
デイビッド・ウィリアムズ	環境サービスプロバイダー／マーケット開発
プリシラ・ルビオ	関係機関キャパシティビルディング
高木美佐子	環境管理関連情報普及／意識向上
フィリピン側カウンターパート(BOI/DTI)	
Erlinda F. ARCELLANA	OIC- Director, Office for Industrial Policy
Raquel B. ECHAGUE	OIC- Division Chief, Environmental Matters Division
Helen SS. CASCO	Senior Investments Specialist (January to August 2003)
Daisy Corazon L. SUGAPONG	Senior Investments Specialist (January to August 2003)
Victoria LAMBA	Investments Specialist
John E. FURAGGANAN	Technical Staff (February to December 2002)
Lanie SAUZA	Clerk

EMPOWERプロジェクトでは、以下の関連政府組織／民間団体の代表者からなる運営委員会を設け、プロジェクトの内容に関する助言を得た。

運営委員会	
Dolora N. NEPOMUCENO	Assistant General Manager, ラグナ湖開発公社 (LLDA)
Lisa ANTONIO	Executive Director, Philippine Business for the Environment (PBE)
Emmanuel D. PINEDA	Manager, Support Services Department, フィリピン経済区庁 (PEZA)
Christopher M. SILVERIO	Chief, Environmental Division, 産業技術開発研究所 (ITDI)
Manuel SABATER	Project Manager, Industrial Initiative for Sustainable Development (IISE), 環境管理局 (EMB)

運営委員会では、以下のような事項を検討した（議事録はAnnex 11参照）。

表 4.3.1 EMPOWER運営委員会での検討事項

	開催年月日	議題
1	2002年3月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会メンバーの確定</li> <li>インセプションレポートの説明</li> </ul>
2	2002年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>IEM推進に係る主体（政府機関、金融機関、業界団体）へのヒアリング調査結果中間報告</li> <li>優先分野選定方針の説明</li> <li>第1回EMPOWERセミナーの計画案の検討</li> </ul>
3	2002年6月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>IEM推進に係る主体（政府機関、金融機関、業界団体）へのヒアリング調査結果報告</li> <li>企業におけるIEM実態調査の対象業種の選定</li> <li>第1回EMPOWERセミナーの計画案の確定</li> <li>パイロット・プロジェクトについての意見交換</li> </ul>
4	2002年8月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回EMPOWERセミナーの実施結果報告</li> <li>企業におけるIEM実態調査の調査項目についての意見交換</li> <li>パイロット・プロジェクト案の検討</li> </ul>
5	2002年8月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回EMPOWERセミナー計画案の検討</li> <li>企業におけるIEM実態調査の進捗状況報告</li> <li>IEMアクション・プランの枠組みの説明</li> <li>パイロット・プロジェクトの選定</li> </ul>
6	2002年10月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>インテリム・レポートの説明</li> <li>企業におけるIEM実態調査結果の中間報告</li> <li>第2回EMPOWERセミナー計画案の確定</li> <li>パイロット・プロジェクトにおける活動内容の検討</li> </ul>
7	2002年11月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>IEMアクション・プランの枠組み及びラウンドテーブルの設置の検討</li> <li>パイロット・プロジェクトの進捗状況の報告</li> </ul>
8	2003年1月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回EMPOWERセミナー計画案の検討</li> <li>IEMアクション・プラン案の検討</li> <li>環境展開計画案の検討</li> <li>パイロット・プロジェクトの進捗状況の報告</li> <li>IEM推進企業の表彰制度の検討</li> </ul>
9	2003年3月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>パイロット・プロジェクトの進捗状況の報告</li> <li>環境展日程、開催場所、出展者の検討</li> <li>IEMアクション・プラン検討のためのラウンドテーブル（第3回EMPOWERセミナーの一環）実施結果報告</li> <li>日本でのカウンターパート研修への参加報告</li> <li>IEM推進企業の表彰制度の検討</li> </ul>
10	2003年4月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境展のテーマ、開催場所、出展者の検討</li> <li>環境展と併催する第4回EMPOWERセミナーの計画案検討</li> </ul>
11	2003年5月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境展の最終計画案検討</li> <li>環境展と併催する第4回EMPOWERセミナーの計画案確定</li> </ul>



	開催年月日	議題
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● IEMアクション・プラン作成のためのラウンドテーブル開催結果報告</li> <li>● パイロット・プロジェクトの進捗状況の報告</li> <li>● JICAのCP研修計画についての情報提供</li> </ul>
12	2003年8月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ドラフト・ファイナル・レポートの説明</li> <li>● パイロット・プロジェクトの実施成果報告</li> <li>● IEMアクション・プラン最終案の説明</li> <li>● IEMアクション・プランの進行管理を行うセクター横断的委員会設置の決定</li> <li>● JICAのCP研修計画についての情報提供</li> <li>● EMPOWER ホームページの変更（BOIのEnvironment Management Cornerへ）</li> </ul>

## 5 本報告書の構成

本報告書は、次の4つのパートから構成されている。パート1は、国家産業環境マネジメント行動計画（第1章～第4章）、パート2は、パイロット・プロジェクト（第5章～第8章）、パート3は、EMPOWERプロジェクトの進捗状況及び結果の普及（第9章～第11章）、パート4は、提言（第12章）である。

パート1は、国家産業環境マネジメント行動計画である。第1章では、産業の現状、産業活動が環境に与える影響を整理した。第2章では、企業、産業団体、及び政府機関による産業環境マネジメント活動、産業環境マネジメントの推進に係る既存の政策及びプロジェクトの現状と課題を整理し、第3章にて産業環境マネジメント発展の条件を提示し、優先領域とその展開施策についてまとめている。第4章は、国家産業環境マネジメント行動計画の策定過程とその内容である。

パート2は、廃棄物最小化、統合的産業環境マネジメント情報システム、エコラベル・プログラム及びグリーン購入3つのパイロット・プロジェクトの立案と実施結果である。第2章の産業環境マネジメントの現状と課題を受けて、パイロット・プロジェクトの選定経緯と結果を第5章に示した。第6章では、廃棄物最小化パイロット・プロジェクトの目的、実施主体、成果、実施スケジュール、活動内容、プロジェクトの評価をとりまとめている。産業環境マネジメント情報システムのパイロット・プロジェクトに関しては第7章に、エコラベル・プログラム及びグリーン購入のパイロット・プロジェクトに関しては第8章に同様の内容をまとめている。

パート3は、EMPOWERプロジェクトにおけるPR活動の概要である。第9章は、EMPOWERプロジェクトの進展及び結果を普及するために開催した4回のセミナーの目的、日時、トピック、参加者からの意見(フィードバック)等を整理している。第10章では、2003年6月9日～10日に開催された環境展の目的及び概要、広報活動、出展者及び出展内容をまとめている。第11章は、BOIのホームページ上に作成されたEMPOWERプロジェクトのホームページの説明となっており、プロジェクト終了後の掲載内容（BOIのグリーン購入方針やBOIの環境管理システムについての情報）についても言及している。

パート4は、以上を踏まえて、BOIに対する産業環境マネジメントの推進についての提言をまとめている。